

#01

GINGER世代が理想とする暮らしを追求した、 大人女子の部屋づくりプロジェクト。

幻冬舎が発行するファッション・ライフスタイル誌「GINGER」。その読者層であるGINGER世代は仕事もプライベートも一生懸命で、おしゃれにも敏感。さまざまなアンテナを張り、充実した生活を送っている。

「GINGER」読者約4000人へのアンケート結果と、読者代表のモニター6人のリアルな意見をもとに、GINGER世代のひとり暮らしにおける、賃貸マンションの理想の部屋づくり、「大人女子の部屋づくりプロジェクト」を始動。



●モニター6人決定！リアルな意見をお伺い

4000人へのアンケートと同時に、この企画へのモニターを募集し厳選する審査の結果6人が選ばれました。

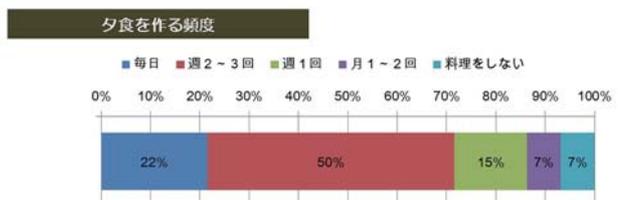
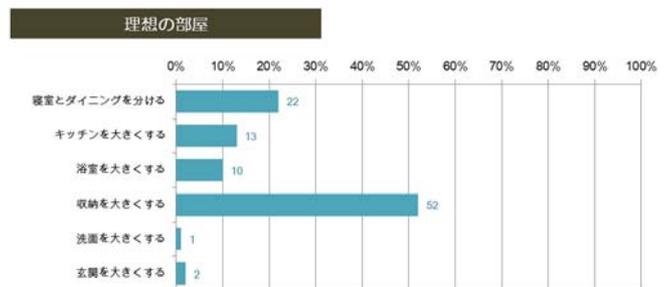
第一回座談会では、それぞれ自分の部屋のお気に入りポイントや、不満ポイントをはじめ、GINGER世代に必要なと思う設備や機能についてざっくばらんに伺い。それぞれ理想の住まいについてのイメージを膨らませてもらいました。同世代ということもありすぐに打ち解け、和気あいあい！



●4000人へのアンケート結果と リアルボイスから理想の部屋を考案

アンケートでは理想の部屋や、理想のくつろぐ場所、料理をする頻度やメイクをする場所などを細かく調査。結果を集計してみると、GINGER世代のリアルが見えてきました。そこから得られた結果と、モニター6人の直接的な意見から、理想の部屋像を具体化していきます。

アンケートの集計結果では、理想の部屋として掲げる名目として重要視するのは、断トツで「収納を大きく」という結果に。また、夕食を作る頻度は週2～3回の方が一番多く、モニターの意見からも部屋選びにキッチンの広さや機能性に重点をおく人が多いこともわかりました。



第二回の座談会では、第一回座談会と、アンケート集計結果をもとに、プランを展開。アンケート結果と、モニターの声から4つの図面が浮かび上がってきました。図面や部屋の機能についても話し合い、より具体的な意見交換へと発展しました。

自分の時間を大切にできるよう、普段くつろぐスペースと、寝室を分ける1DKという考え方を提案。暮らしを豊かにするために必要なこと、必要のないことをさらに明確にし、ここから詳細を詰めて考えていきます。



浮かび上がった4つの間取り

